

## ベック衝撃引張試験機

本機は、急速引張による破断応力を測定するもので、試験片を湾曲状に弛みをもたせた状態で衝撃を加え、破断したときの損失エネルギーを測定する機械です。瞬間的に大きな張力の生ずる輪転印刷機に於ける巻取紙の紙切れに対する抵抗を試験する場合や、クラフト紙を製袋加工し、実際に使用した場合の動的強度を測定することが出来ます。

本機は振り方式によって試験片の破断仕事量を測定する型式で、幅15mm、長さ180mmの試験片をつかみに固定し、振子を指定位置まで振り上げて放します。試験片は、最高張力時に破断され、仕事量 $N \cdot m$  ( $kgf \cdot cm$ ) が目盛上に指示されます。

- 試験巾：15mm
- 試料スパン：70mm～180mm迄 1mm単位にセット可能
- 振り角度：0～180°
- 応力尺度：1.振子 6.25kg·cm(1目 0.1kg·cm)  
2.振子+環状板(1枚) 12.25kg·cm(1目 0.2kg·cm)  
3.振子+環状板(2枚) 25.0kg·cm(1目 0.4kg·cm)
- 衝撃速度：上記何れかの応力範囲にても初速 0.1m/sec.
- 参考文献：TAPPI 40 (1) 1957
- 外形寸法：590×320×720mm
- 重量：46kg



No. 2010